

経営学部 会計ガバナンス学科

2020年度入学生カリキュラム

<カリキュラム情報>

- ◆ **カリキュラム・ポリシー** p.2
教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。
- ◆ **カリキュラム・マップ [武蔵野 BASIS・学科科目]** p.3
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** p.5
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表 [武蔵野 BASIS]** p.6
武蔵野BASIS(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表 [学科科目]** p.9
学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **履修モデル** p.11
学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。
※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認し
たうえで履修計画を立ててください。
- ◆ **成果に基づき単位認定される科目** p.16
「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」の一覧。

付録：卒業所要単位数表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

会計ガバナンス学科 カリキュラム・ポリシー

会計ガバナンス学科では、<基礎科目群><基幹科目群><展開科目群>の順に段階的に編成しています。理論とともに実践教育を重視し、ゼミナール、学科独自のインターンシップのみならず通常の講義においても、有明キャンパスの立地を活用して、東京国際展示場や周辺企業、会計事務所、税理士事務所等への訪問・見学を通じてアクティブな知を体得します。また、少人数教育に力を入れ2年次より卒業までのゼミナールを必修で履修することで、教員と近い距離で長期間の指導を受けることにより、実践的スキルに加え言葉では伝えることの難しいカンやコツ、社会現象に対する考え方などを培います。また、会計専門職、経理職、金融機関等といった将来の進路を見据えた履修モデルを提供し、目的を明確にした体系的な学修を実現します。

知識・専門性 : 学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自律的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

会計学・ガバナンス論等の分野における基礎学力を習得している【基礎学力】

会計学・ガバナンス論等の分野における専門知識を体系的に習得し、現実の経営事象を理解分析できる【専門能力】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野BASIS」を履修します。「武蔵野BASIS」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得を目的として、「建学」、「健康体育」、「コンピュータ」、「日本語リテラシー」および「外国語」を学びます。また、同プログラムの「基礎セルフディベロップメント」において、「思想・芸術」、「国際・地域」、「社会・制度」、「人間・環境」、「物質・生命」、「数理・情報」の6分野を学ぶことにより、広い視野を備えたすぐれた人格の形成を目指します。

会計ガバナンス学科では、<基礎科目群>で会計分野の基礎学力をつけることを目的とし、『会計学入門』簿記1、2』を必修で修得します。

<基幹科目群>は<基礎科目群>で身につけた基礎学力を発展させることを目的とし、『簿記3、4』『工業簿記1、2』『財務会計1、2』『企業と社会』『コーポレート・ガバナンス論1』を学びます。

<展開科目群>は、『アドバンス簿記1、2』『財務会計3、4』『連結会計』『監査論』『会計データ分析1、2』等の学習を通じ、<基幹科目群>で身につけた専門学力を発展させ、高度な会計の専門知識を体系的に修得します。

<課題研究科目群>は最重要の科目群であり、2年次の『プレゼミ1、2』、3、4年次の『ゼミナール1、2、3、4』を必修科目とし、卒業論文につなげていきます。「課題研究」は「基礎科目群」「基幹科目群」「展開科目群」で学んだ、あるいは学んでいる内容を応用していくことを目的としています。少人数の学生に対し、長期にわたり指導を施すことで、専門知識の習得のみならず、社会課題を自ら発見し、必要な状況を論理的に分析し、それぞれの専門の立場から自ら解決策を提示する能力を習得していきます。

さらに、刻一刻と変化する会計をめぐる社会環境に適応し、必要な知識を補完する<応用科目群>を履修することで、その時々々の社会状況の要請に応じた専門能力を身につけます。

他に、職業会計人を輩出するための専門コース「育成プログラム」があり、1年次から開講されます。

関心・態度・人格 : 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

取り組むべき社会的課題を自ら発見し、状況の改善や危機管理に生かすことができる【課題発見力】

自らの判断で、社会において責任ある意思決定ができる【主体性・実行力】

職業人として恥ずかしくない人格、倫理、使命感を有している【人格形成・使命感】

企業の社会的責任の重視により、高い倫理観と共生の視点を持ち、会計言語を駆使して問題発見・課題解決ができる人材が必要とされています。3年4学期に履修する『企業倫理』は、実社会で働く直前に、倫理観を高め、倫理的な知識を習得することができます。

1年次に行われる長期学外学修プログラム「フィールド・スタディーズ」では、社会のパラダイム・シフトに対応する3つの人材、①自発自燃型人材、②グローバル人材、③地域貢献型人材の育成に必要なかつ想定外の状況にも対応できる主体性や問題発見・解決能力などの汎用的能力を修得します。

思考・判断 : 課題を多角的に捉え、創造的に考える力

必要な情報を自ら収集し、論理的に分析することができる【情報分析・論理的思考】

経営上の課題に対して自ら状況を分析し、解決策を提示することができる【課題解決力】

3年次に行われる「会計インターンシップ」では、実際の監査実務、税務実務、経理実務に精通した実務家の授業を受講し、監査法人や税理士事務所、事業会社の経理職のワナダーインターンシップを体験することによって、学科で学習した学問と実務がどのように融合しているのか理解するとともに、取り組むべき社会的課題を自ら発見し、解決策を提案できる能力を身につけます。

実践的スキル・表現: 多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

自らの思考を、必要に応じ文章、図表、情報機器などを用いて的確に表現できる【表現力】

組織において他者の意思を尊重しながら、全体をまとめ、リーダーシップを発揮できる【傾聴力・リーダーシップ力】

表現力、傾聴力、リーダーシップ、チームワークは、企業や社会では不可欠の能力です。2年次より卒業まで、ゼミナール形式の講義が必修科目となっている会計ガバナンス学科では、専門知識の修得に加えて、これらの能力を修得します。

1年

2年

3・4年

セルフディベロップメント

☆ SD 101
基礎セルフディベロップメント

日本語リテラシー

☆ JL 101
日本語リテラシー

外国語 応用

AL 101/102 英語資格・検定試験対策A/B

AL 301/302 English for Studying Abroad 1/2

AL 311/312 International Lectures 1/2

情報

☆ SIC 101 データ・情報リテラシー

★ SIC 102 メディア・人工知能リテラシー

SIC 103 情報分析・創出・表現技法

SIC 104 プログラミングリテラシー

外国語

☆ ENG 101 英語 1 A	☆ ENG 102 英語 1 B	☆ ENG 103 英語 1 C	☆ ENG 104 英語 1 D
CHN 101 中国語 1 A	CHN 102 中国語 1 B	CHN 103 中国語 1 C	CHN 104 中国語 1 D
FRA 101 フランス語 1 A	FRA 102 フランス語 1 B	FRA 103 フランス語 1 C	FRA 104 フランス語 1 D
GER 101 ドイツ語 1 A	GER 102 ドイツ語 1 B	GER 103 ドイツ語 1 C	GER 104 ドイツ語 1 D
SPA 101 スペイン語 1 A	SPA 102 スペイン語 1 B	SPA 103 スペイン語 1 C	SPA 104 スペイン語 1 D
KOR 101 韓国語 1 A	KOR 102 韓国語 1 B	KOR 103 韓国語 1 C	KOR 104 韓国語 1 D

SD 201 芸術のすすめ	SD 202 数学的ものの考え方	SD 203 社会現象を分析する	SD 204 環境学への展望
SD 205 人間の心理を探る	SD 206 生命科学と人間	SD 207 市民の社会貢献	SD 208 市民生活と権利を考える
SD 209 現代メディアの探求	SD 210 社会情報と生活	SD 211 日本の歴史	SD 212 外国の歴史
SD 213 哲学への探索	SD 214 文化人類学への誘い	SD 215 文学を読み解く楽しみ	
SD 221 ホスピタリティマインド概論	SD 222 ホスピタリティマインド各論		

☆ 必修(進級基準科目) 必修科目

★ 必修科目

選択必修科目

選択科目

*各科目の履修条件は開講表を参照

建学

★ BDS 101 仏教概説

BDS 111 共生社会

BDS 201 しあわせを考える

サブ・メジャー

SUBM 201 サブ・メジャー(ゼミナール)1

SUBM 202 サブ・メジャー(ゼミナール)2

SUBM 311 サブ・メジャー(総合研究)1

SUBM 312 サブ・メジャー(総合研究)2

健康体育

HPE 101 スポーツと身体科学

HPE 201 フィールド・スポーツ

HPE 211 オリンピック・パラリンピック文化論

フィールド・ワーク・スタディーズ

★ FW 101 フィールド・スタディーズ

FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4

FW 121/122/123/124/125 海外フィールド・スタディーズ1/2/3/4/5

インターンシップ

INT 201 インターンシップ(事前研究)

INT 211/212/213/214 インターンシップ 1/2/3/4

INT 221/222/223 海外インターンシップ 1/2/3

寄付講座

EC 101 寄付講座1

EC 202 証券ビジネス論

EC 204 金融リテラシー(金融と人生設計)

EC 205 未来型都市とメディア

1年 2年 3~4年

経済学基礎
ECON 111
経済学入門

共生原理
BDS 111
共生原理

経営学入門
BIZ 100
経営学入門

公法
LAW 315
租税法1

LAW 316
租税法2

金融・ファイナンス
ECON 227
金融論 1

ECON 228
金融論 2

BIZ 225
ファイナンス・プラン
ニング論 1

BIZ 226
ファイナンス・プラン
ニング論 2

ACF 3216
コーポレート・ファイ
ナンス論

会計学入門
★ ACF 101
会計人と倫理

★ ACF 102
会計学入門

会計学
BIZ 221
財務会計 1

BIZ 222
財務会計 2

ACF 223
財務会計 3

ACF 224
財務会計 4

ACF 321
管理会計 3

ACF 329
監査論

ACF 322
管理会計 4

ACF 3210
公会計論 1

ACF 323
連結会計

ACF 3211
公会計論 2

ACF 324
税務会計 1

ACF 3212
非営利会計論 1

ACF 325
税務会計 2

ACF 3213
非営利会計論 2

ACF 326
会計データ分析 1

ACF 3214
統合報告書論 1

ACF 327
会計データ分析 2

ACF 3215
統合報告書論 2

ACF 328
国際財務報告論

簿記
★ ACF 111
簿記 1

ACF 113
簿記 3

ACF 115
工業簿記 1

★ ACF 112
簿記 2

ACF 114
簿記 4

ACF 116
工業簿記 2

簿記
ACF 211
原価計算 1

ACF 212
原価計算 2

ACF 213
アドバンス簿記 1

ACF 214
アドバンス簿記 2

会計士・税理士
EXPC 131
公認会計士・税理
士育成プログラム 1

EXPC 133
公認会計士・税理
士育成プログラム 3

EXPC 132
公認会計士・税理
士育成プログラム 2

EXPC 134
公認会計士・税理
士育成プログラム 4

会計学研究
ACF 241
会計学特殊研究 A

ACF 242
会計学特殊研究 B

★ ACF 243
プレゼミ 1

★ ACF 244
プレゼミ 2

★ ACF 341
ゼミナール 1

★ ACF 342
ゼミナール 2

ACF 343
会計インターンシップ

★ ACF 441
ゼミナール 3

★ ACF 442
ゼミナール 4

ACF 443
卒業論文

ガバナンス・社会
ACF 231
企業と社会

ACF 232
コーポレート・ガバナ
ンス論 1

ACF 333
企業倫理

ACF 334
C S R 論

ACF 331
コーポレート・ガバナ
ンス論 2

★ 必修科目

*各科目の履修条件は開講表を参照

基礎科目群 応用科目群

基幹科目群 課題研究

展開科目群 育成プログラム

経営学部 会計ガバナンス学科 -2020年度入学生-

卒業所要単位数

2020年度版

☆進級基準科目

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	【建学科目】 仏教概説 [4単位]	4
		【情報科目】 データ・情報リテラシー [1単位] ☆ メディア・人工知能リテラシー [1単位]	2
		【外国語】 英語1A～1D [計4単位] ☆	4
		【日本語リテラシー】 日本語リテラシー [1単位] ☆	1
		【基礎セルフディベロップメント】 基礎セルフディベロップメント [6単位] ☆	6
		【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
	選択必修 (4)	【発展セルフディベロップメント】 <2～4年次> 発展セルフディベロップメント [2科目4単位選択]	4
学科科目 (72)	必修 (20)	【基礎科目群】 会計人と倫理 [2単位] 簿記1 [2単位] 簿記2 [2単位] 会計学入門 [2単位] 【課題研究】 プレゼミ1～2 [計4単位] ゼミナール1～4 [計8単位]	20
	選択 (52)	学科科目から52単位を選択	52
自由選択科目 (30)		以下の科目から30単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS (所要22単位を超えて修得した単位) ②学科科目 (所要72単位を超えて修得した単位) ③他学部・他学科履修許可科目 ④日本語科目 (留学生又は日本語を母語としない学生のみ履修可) ⑤日本事情に関する科目 ⑥成果に基づき単位認定される科目 (「海外語学研修1～4」「資格認定 I～VII」「ボランティア活動1～5」等)	30
合計			124

※ BASIS進級基準科目 (☆) 武蔵野BASISの進級基準科目を未修得の場合、進級要件に抵触し、次の学年に進級することができません。

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「[学修の手引き](#)」の「[履修計画](#)」や「[履修登録](#)」を参照してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【建学科目】						
BDS 101	仏教概説	1年	4			
BDS 111	共生社会	1年		2		
BDS 201	しあわせを考える	2年		2		
【健康体育科目】						
HPE 101	スポーツと身体科学	1年		1		
HPE 201	フィールド・スポーツ	2年		1		
HPE 211	オリンピック・パラリンピック文化論	2年		2		
【情報科目】						
SIC 101	データ・情報リテラシー	1年	1			進級基準科目
SIC 102	メディア・人工知能リテラシー	1年	1			
SIC 103	情報分析・創出・表現技法	1年		1		
SIC 104	プログラミングリテラシー	1年		1		
【外国語】						
ENG 101	英語1A	1年	1			進級基準科目
ENG 102	英語1B	1年	1			進級基準科目
ENG 103	英語1C	1年	1			進級基準科目
ENG 104	英語1D	1年	1			進級基準科目
ENG 201	英語2A	2年		1		
ENG 202	英語2B	2年		1		
ENG 203	英語2C	2年		1		
ENG 204	英語2D	2年		1		
ENG 301	英語3A	3年		1		
ENG 302	英語3B	3年		1		
CHN 101	中国語1A	1年		1	◆次のいずれかのセットで履修すること。 ①「中国語1A」と「中国語1C」 ②「中国語1B」と「中国語1D」 ③「中国語1A～1D」	
CHN 102	中国語1B	1年		1		
CHN 103	中国語1C	1年		1		
CHN 104	中国語1D	1年		1		
CHN 201	中国語2A	2年		1	◆「中国語2A」と「中国語2B」をセットで履修すること。	
CHN 202	中国語2B	2年		1		
CHN 203	中国語2C	2年		1		2020年度休講
CHN 204	中国語2D	2年		1		2020年度休講
CHN 301	中国語3A	3年		1		
CHN 302	中国語3B	3年		1		
FRA 101	フランス語1A	1年		1	◆次のいずれかのセットで履修すること。 ①「フランス語1A」と「フランス語1C」 ②「フランス語1B」と「フランス語1D」 ③「フランス語1A～1D」	
FRA 102	フランス語1B	1年		1		
FRA 103	フランス語1C	1年		1		
FRA 104	フランス語1D	1年		1		
FRA 201	フランス語2A	2年		1	◆「フランス語2A」と「フランス語2B」をセットで履修すること。	
FRA 202	フランス語2B	2年		1		
FRA 203	フランス語2C	2年		1		2020年度休講
FRA 204	フランス語2D	2年		1		2020年度休講
FRA 301	フランス語3A	3年		1		
FRA 302	フランス語3B	3年		1		
GER 101	ドイツ語1A	1年		1	◆次のいずれかのセットで履修すること。 ①「ドイツ語1A」と「ドイツ語1C」 ②「ドイツ語1B」と「ドイツ語1D」 ③「ドイツ語1A～1D」	
GER 102	ドイツ語1B	1年		1		
GER 103	ドイツ語1C	1年		1		
GER 104	ドイツ語1D	1年		1		
GER 201	ドイツ語2A	2年		1	◆「ドイツ語2A」と「ドイツ語2B」をセットで履修すること。	
GER 202	ドイツ語2B	2年		1		
GER 203	ドイツ語2C	2年		1		2020年度休講
GER 204	ドイツ語2D	2年		1		2020年度休講
GER 301	ドイツ語3A	3年		1		
GER 302	ドイツ語3B	3年		1		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
SPA 101	スペイン語 1 A	1年		1	◆次のいずれかのセットで履修すること。 ①「スペイン語1A」と「スペイン語1C」 ②「スペイン語1B」と「スペイン語1D」 ③「スペイン語1A～1D」	
SPA 102	スペイン語 1 B	1年		1		
SPA 103	スペイン語 1 C	1年		1		
SPA 104	スペイン語 1 D	1年		1		
SPA 201	スペイン語 2 A	2年		1	◆「スペイン語2A」と「スペイン語2B」をセットで履修すること。	
SPA 202	スペイン語 2 B	2年		1		
SPA 203	スペイン語 2 C	2年		1		2020年度休講
SPA 204	スペイン語 2 D	2年		1		2020年度休講
SPA 301	スペイン語 3 A	3年		1		
SPA 302	スペイン語 3 B	3年		1		
KOR 101	韓国語 1 A	1年		1	◆次のいずれかのセットで履修すること。 ①「韓国語1A」と「韓国語1C」 ②「韓国語1B」と「韓国語1D」 ③「韓国語1A～1D」	
KOR 102	韓国語 1 B	1年		1		
KOR 103	韓国語 1 C	1年		1		
KOR 104	韓国語 1 D	1年		1		
KOR 201	韓国語 2 A	2年		1	◆「韓国語2A」と「韓国語2B」をセットで履修すること。	
KOR 202	韓国語 2 B	2年		1		
KOR 203	韓国語 2 C	2年		1		2020年度休講
KOR 204	韓国語 2 D	2年		1		2020年度休講
KOR 301	韓国語 3 A	3年		1		
KOR 302	韓国語 3 B	3年		1		
【外国語 応用】						
AL 301	English for Studying Abroad 1	1・2年		1		
AL 302	English for Studying Abroad 2	1・2年		1		
AL 311	International Lectures 1	1・2・3・4年		1		
AL 312	International Lectures 2	1・2・3・4年		1	◆International Lectures1を履修していること。	
AL 101	英語資格・検定試験対策A	1年		1		
AL 102	英語資格・検定試験対策B	1年		1		
【日本語リテラシー】						
JL 101	日本語リテラシー	1年	1			進級基準科目
【セルフディベロップメント科目】						
<基礎セルフディベロップメント>						
SD 101	基礎セルフディベロップメント	1年	6			進級基準科目
<発展セルフディベロップメント>						
SD 201	芸術のすすめ	2年		2		4単位選択必修
SD 202	数学的ものの考え方	2年		2		
SD 203	社会現象を分析する	2年		2		
SD 204	環境学への展望	2年		2		
SD 205	人間の心理を探る	2年		2		
SD 206	生命科学と人間	2年		2		
SD 207	市民の社会貢献	2年		2		
SD 208	市民生活と権利を考える	2年		2		
SD 209	現代メディアの探求	2年		2		
SD 210	社会情報と生活	2年		2		
SD 211	日本の歴史	2年		2		
SD 212	外国の歴史	2年		2		
SD 213	哲学への探求	2年		2		
SD 214	文化人類学への誘い	2年		2		
SD 215	文学を読み解く楽しみ	2年		2		
SD 221	ホスピタリティマインド概論	2年		2		選択必修対象外
SD 222	ホスピタリティマインド各論	2年		2		
【フィールド・ワーク・スタディーズ科目】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します。 履修登録は不要です。
FW 111	フィールド・スタディーズ 1	1年		1		
FW 112	フィールド・スタディーズ 2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ 3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ 4	1年		4		
FW 121	海外フィールド・スタディーズ 1	1年		2		
FW 122	海外フィールド・スタディーズ 2	1年		3		
FW 123	海外フィールド・スタディーズ 3	1年		4		
FW 124	海外フィールド・スタディーズ 4	1年		5		
FW 125	海外フィールド・スタディーズ 5	1年		6		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【インターンシップ科目】						
INT 201	インターンシップ (事前研究)	2年		1	◆シラバスや初回授業に実施するガイダンスで確認すること	
INT 211	インターンシップ1	2年		1		
INT 212	インターンシップ2	2年		2		
INT 213	インターンシップ3	2年		4		
INT 214	インターンシップ4	2年		6		
INT 221	海外インターンシップ1	2年		4		
INT 222	海外インターンシップ2	2年		6		
INT 223	海外インターンシップ3	2年		8		
【副専攻 (サブ・メジャー) 科目群】						
SUBM 201	サブ・メジャー (ゼミナール) 1	2年		2		
SUBM 202	サブ・メジャー (ゼミナール) 2	2年		4		
SUBM 311	サブ・メジャー (総合研究) 1	3年		2	◆「サブ・メジャー (ゼミナール) 1」または「サブ・メジャー (ゼミナール) 2」を履修していること	
SUBM 312	サブ・メジャー (総合研究) 2	3年		4		
【寄付講座科目】						
EC 101	寄付講座1	1・2・3・4年		2		寄付講座：武蔵野市
EC 201	資金計画論	2年		2		2020年度休講
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券
EC 203	経済教育論	2年		2		2020年度休講
EC 204	金融リテラシー(金融と人生設計)	2年		2		寄付講座：金融広報中央委員会
EC 205	未来型都市とメディア	2年		2		寄付講座：ビーエスフジ

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

経営学部 会計ガバナンス学科 -2020年度入学生-

開講表 [学科科目]

2020年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】						
ACF 101	会計人と倫理	1年	2			
ACF 111	簿記 1	1年	2		◆1年生は武蔵野キャンパスのみ、2年生以上は武蔵野キャンパスと有明キャンパスのどちらでも履修可	
ACF 112	簿記 2	1年	2		◆「簿記 1」を履修していること ◆1年生は武蔵野キャンパスのみ、2年生以上は武蔵野キャンパスと有明キャンパスのどちらでも履修可	
ACF 102	会計学入門	1年	2			
BIZ 100	経営学入門	2年		2		
ECON 111	経済学入門	1年		2		
【基幹科目群】						
ACF 113	簿記 3	1年		2	◆「会計学入門」「簿記1」「簿記2」のうち2科目を履修していること	
ACF 114	簿記 4	1年		2	◆「簿記3」を履修していること	
ACF 115	工業簿記 1	1年		2	◆「会計学入門」「簿記1」「簿記2」のうち2科目を履修していること	
ACF 116	工業簿記 2	1年		2	◆「工業簿記1」を履修していること	
ACF 211	原価計算 1	2年		2	◆「簿記2」を履修していること	
ACF 212	原価計算 2	2年		2	◆「原価計算1」を履修していること	
BIZ 221	財務会計 1	2年		2		
BIZ 222	財務会計 2	2年		2	◆「財務会計1」を履修していること	
ACF 221	管理会計 1	2年		2		
ACF 222	管理会計 2	2年		2	◆「管理会計1」を履修していること	
ACF 232	コーポレート・ガバナンス論 1	2年		2	◇「会計学入門」を履修していること	
ACF 231	企業と社会	2年		2	◇「会計学入門」を履修していること	
ACF 333	企業倫理	3年		2	◇「会計学入門」を履修していること	
【展開科目群】						
BDS 111	共生原理	1年		2		
ACF 213	アドバンス簿記 1	2年		2	◇「簿記4」を履修していること	
ACF 214	アドバンス簿記 2	2年		2	◆「アドバンス簿記 1」を履修していること	
ACF 223	財務会計 3	2年		2	◇「財務会計2」を履修していること	
ACF 224	財務会計 4	2年		2	◆「財務会計3」を履修していること	
ACF 323	連結会計	3年		2		
ACF 321	管理会計 3	3年		2	◆「管理会計2」を履修していること	
ACF 322	管理会計 4	3年		2	◆「管理会計3」を履修していること	
ACF 3216	コーポレート・ファイナンス論	3年		2		
ACF 328	国際財務報告論	3年		2		
ACF 329	監査論	3年		2		
ACF 3212	非営利会計論 1	3年		2		
ACF 3213	非営利会計論 2	3年		2	◆「非営利会計論1」を履修していること	
ACF 3210	公会計論 1	3年		2		
ACF 3211	公会計論 2	3年		2	◆「公会計論1」を履修していること	
LAW 315	租税法 1	2年		2		
LAW 316	租税法 2	3年		2	◆「租税法1」を履修していること	
ACF 324	税務会計 1	3年		2		
ACF 325	税務会計 2	3年		2	◆「税務会計1」を履修していること	
ACF 331	コーポレート・ガバナンス論 2	3年		2	◆「コーポレート・ガバナンス論1」を履修していること	
ACF 334	C S R論	3年		2	◇「会計学入門」を履修していること	
ACF 3214	統合報告書論 1	3年		2		
ACF 3215	統合報告書論 2	3年		2	◆「統合報告書論1」を履修していること	
ACF 326	会計データ分析 1	3年		2		
ACF 327	会計データ分析 2	3年		2	◇「会計データ分析1」を履修していること	
AC 343	会計インターンシップ	3年		2		
ECON 227	金融論 1	2年		2		
ECON 228	金融論 2	2年		2	◆「金融論1」を履修していること	
BIZ 225	フィナンシャル・プランニング論 1	2年		2		
BIZ 226	フィナンシャル・プランニング論 2	2年		2	◆「フィナンシャル・プランニング論 1」を履修していること	

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【応用科目群】						
ACF 241	会計学特殊研究A	2・3・4年		2	◇「会計学特殊研究B」を履修していないこと	
ACF 242	会計学特殊研究B	2・3・4年		2	◇「会計学特殊研究A」を履修していないこと	
【課題研究】						
ACF 243	プレゼミ1	2年	2			
ACF 244	プレゼミ2	2年	2			
AC 341	ゼミナル1	3年	2			
AC 342	ゼミナル2	3年	2			
AC 441	ゼミナル3	4年	2			
AC 442	ゼミナル4	4年	2			
AC 443	卒業論文	4年		4		
<育成プログラム>						
EXPC 131	公認会計士・税理士育成プログラム1	1年		1	◆育成プログラム生のみ	
EXPC 132	公認会計士・税理士育成プログラム2	1年		4		
EXPC 133	公認会計士・税理士育成プログラム3	1年		4		
EXPC 134	公認会計士・税理士育成プログラム4	1年		4		

履修条件については、「学修の手引き」の説明を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

ライセンス学類
(履修モデル1)

【進路イメージ】

公認会計士・税理士・国税専門官

【モデル概要】

簿記を高度に学ぶことによって、公認会計士・税理士・国税専門官といった会計に関わる専門職を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
		外国語 英語	★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		日本語リテラシー	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1				
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2 ★ 簿記1 2 ★ 簿記2 2 ★ 会計学入門 2			
		課題研究		★ プレゼミ1 2 ★ プレゼミ2 2	★ ゼミナール1 2 ★ ゼミナール2 2	★ ゼミナール3 2 ★ ゼミナール4 2
		簿記3 2 簿記4 2 工業簿記1 2 工業簿記2 2 共生原理 2	原価計算1 2 原価計算2 2 財務会計1 2 財務会計2 2 アドバンス簿記1 2 アドバンス簿記2 2 財務会計3 2 財務会計4 2 租税法1 2	租税法2 2 国際財務報告論 2 連結会計 2 管理会計3 2 管理会計4 2 監査論 2 税務会計1 2 税務会計2 2 統合報告書論1 2 統合報告書論2 2 会計インターンシップ 2	卒業論文 4	
		会計学特殊研究A、会計学特殊研究B（それぞれ2単位）を2年生～4年生の間で履修すること				
	自由選択科目 (30)		オリンピック・パラリンピック文化論 2 インターンシップ(事前研究) 1 インターンシップ1 or 2 1or2 (自身の興味・関心がある科目) 4	(自身の興味・関心がある科目) 8	(自身の興味・関心がある科目) 4	
	備考		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。			
	履修モデル計	36	33	34	12	
	履修上限単位数(CAP) ※1	40	40	40	40	
	履修モデル単位数 ※2		合計 115単位			
	卒業所要単位数 ※3		合計124単位以上			

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください(卒業所要単位数を満たすように上記の科目以外から9単位以上を履修すること)。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

経営学類

(履修モデル 2 -①)

【進路イメージ】

① 上場企業を含む民間企業の経理・財務担当者

【モデル概要】

基礎的な簿記を学ぶことに加え、管理会計・税務会計・国際会計など幅広く会計の知識を身につけ、将来的に経理・財務部門で活躍できる人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
		外国語 英語	★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		日本語リテラシー	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1			
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2 ★ 簿記 1 2 ★ 簿記 2 2 ★ 会計学入門 2			
		課題研究		★ プレゼミ 1 2 ★ プレゼミ 2 2	★ ゼミナール 1 2 ★ ゼミナール 2 2	★ ゼミナール 3 2 ★ ゼミナール 4 2
		簿記 3 2 簿記 4 2 工業簿記 1 2 共生原理 2	経営学入門 2 財務会計 1 2 財務会計 2 2 管理会計 1 2 管理会計 2 2 コーポレート・ガバナンス論 1 2 財務会計 3 2 財務会計 4 2 租税法 1 2 金融論 1 2 金融論 2 2 フィナンシャル・プランニング論 1 2 フィナンシャル・プランニング論 2 2	連結会計 2 管理会計 3 2 管理会計 4 2 コーポレート・ファイナンス論 2 国際財務報告論 2 監査論 2 租税法 2 2 税務会計 1 2 税務会計 2 2 コーポレート・ガバナンス論 2 2 会計データ分析 1 2 会計データ分析 2 2 会計インターンシップ 2 統合報告書論 1 2 統合報告書論 2 2	卒業論文 4	
		会計学特殊研究 A、会計学特殊研究 B (それぞれ2単位) を2年生～4年生の間で履修すること				
	自由選択科目 (30)			(自身の興味・関心がある科目) 2	(自身の興味・関心がある経営に係る科目) 4	(自身の興味・関心がある科目) 1
		備考	武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。			
		履修モデル 計	34	36	38	9
		履修上限単位数(CAP) ※1	40	40	40	40
		履修モデル単位数 ※2	合計 117単位			
		卒業所要単位数 ※3	合計124単位以上			

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください(卒業所要単位数を満たすように上記の科目以外から7単位以上を履修すること)。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

経理学類

(履修モデル 2 -②)

【進路イメージ】

②公務員等の公共団体の経理・財務担当者

【モデル概要】

基礎的な簿記を学ぶことに加え、非営利会計論・公会計論など公共分野で用いられる会計についての知識を身につけ、将来的に公共団体の経理・財務部門で活躍できる人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
		外国語 英語	★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		日本語リテラシー	☆ 英語1A～1D 4			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
		フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1			
	選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4		
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2			
			★ 簿記 1 2			
			★ 簿記 2 2			
			★ 会計学入門 2			
	選択 (52)	課題研究		★ プレゼミ 1 2	★ ゼミナール 1 2	★ ゼミナール 3 2
				★ プレゼミ 2 2	★ ゼミナール 2 2	★ ゼミナール 4 2
		簿記 3 2	経営学入門 2	連結会計 2	卒業論文 4	
		簿記 4 2	財務会計 1 2	企業倫理 2		
		工業簿記 1 2	財務会計 2 2	CSR論 2		
		共生原理 2	管理会計 1 2	コーポレート・ガバナンス論 2 2		
			管理会計 2 2	国際財務報告論 2		
			コーポレート・ガバナンス論 1 2	監査論 2		
			企業と社会 2	租税法 2 2		
			租税法 1 2	税務会計 1 2		
			金融論 1 2	税務会計 2 2		
			金融論 2 2	コーポレート・ファイナンス論 2		
			フィナンシャル・プランニング論 1 2	会計データ分析 1 2		
	フィナンシャル・プランニング論 2 2	会計データ分析 2 2				
		会計インターンシップ 2				
		非営利会計論 1 2				
		非営利会計論 2 2				
		公会計論 1 2				
		公会計論 2 2				
会計学特殊研究 A、会計学特殊研究 B (それぞれ2単位) を2年生～4年生の間で履修すること						
自由選択科目 (30)			(自身の興味・関心がある科目) 2		(自身の興味・関心がある科目) 1	
備考		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
履修モデル 計		34	34	38	9	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
履修モデル単位数 ※2		合計 115単位				
卒業所要単位数 ※3		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください(卒業所要単位数を満たすように上記の科目以外から9単位以上を履修すること)。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位数表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

ガバナンス学類
(履修モデル3)

【進路イメージ】

民間企業における事務部門

【モデル概要】

簿記や会計の知識に加え、コーポレート・ガバナンス論や統合報告書論・CSR論といった、現代のコーポレート・ガバナンスに欠かせない知識を身につけ、将来的にCFOや総務部門など企業経営を支える人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
			★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		外国語 英語	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1				
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科科目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2			
			★ 簿記1 2			
			★ 簿記2 2			
			★ 会計学入門 2			
	選択 (52)	課題研究		★ プレゼミ1 2	★ ゼミナール1 2	★ ゼミナール3 2
				★ プレゼミ2 2	★ ゼミナール2 2	★ ゼミナール4 2
			簿記3 2	経営学入門 2	企業倫理 2	卒業論文 4
			簿記4 2	経済学入門 2	管理会計3 2	
			工業簿記1 2	財務会計1 2	管理会計4 2	
			共生原理 2	財務会計2 2	コーポレート・ファイナンス論 2	
				管理会計1 2	コーポレート・ガバナンス論2 2	
				管理会計2 2	C S R 論 2	
				コーポレート・ガバナンス論1 2	統合報告書論1 2	
				企業と社会 2	統合報告書論2 2	
				フィナンシャル・プランニング論1 2	会計データ分析1 2	
				フィナンシャル・プランニング論2 2	会計データ分析2 2	
					会計インターンシップ 2	
					非営利会計論1 2	
					非営利会計論2 2	
					公会計論1 2	
			公会計論2 2			
会計学特殊研究A、会計学特殊研究B（それぞれ2単位）を2年生～4年生の間で履修すること						
自由選択科目 (30)			オリンピック・パラリンピック文化論 2 インターンシップ(事前研究) 1 インターンシップ1 or 2 1or2	(自身の興味・関心がある経営に係る科目) 2	(自身の興味・関心がある科目) 4	
備考		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
履修モデル 計		34	31	36	12	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
履修モデル単位数 ※2		合計 113単位				
卒業所要単位数 ※3		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください（卒業所要単位数を満たすように上記の科目以外から11単位以上を履修すること）。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

会計ガバナンス学科 履修モデル 2020年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。
また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

金融学類

(履修モデル4)

【進路イメージ】

銀行・保険・証券といった金融機関

【モデル概要】

会計の基本的な科目に加え、経済学科と協力し合う金融系の知識を身につけ、将来的に銀行・保険・証券といった金融機関で活躍できる人材を目指す

★必修科目 ☆進級基準科目 数字は単位数

科目区分		1年	2年	3年	4年	
武蔵野BASIS (22)	必修 (18)	建学科目	★ 仏教概説 4			
		情報科目	☆ データ・情報リテラシー 1			
			★ メディア・人工知能リテラシー 1			
		外国語 英語	☆ 英語1A～1D 4			
		日本語リテラシー	☆ 日本語リテラシー 1			
		セルフディベロップメント科目	☆ 基礎セルフディベロップメント 6			
	フィールド・ワーク・スタディーズ科目	★ フィールド・スタディーズ 1				
選択必修 (4)	セルフディベロップメント科目		発展セルフディベロップメント 4			
学科学目 (72)	必修 (20)	基礎科目群	★ 会計人と倫理 2			
			★ 簿記1 2			
			★ 簿記2 2			
	★ 会計学入門 2					
	選択 (52)	課題研究		★ プレゼミ1 2	★ ゼミナール1 2	★ ゼミナール3 2
				★ プレゼミ2 2	★ ゼミナール2 2	★ ゼミナール4 2
		簿記3 2	経営学入門 2	企業倫理 2	卒業論文 4	
		簿記4 2	経済学入門 2	管理会計3 2		
		工業簿記1 2	財務会計1 2	管理会計4 2		
		共生原理 2	財務会計2 2	コーポレート・ファイナンス論 2		
			管理会計1 2	コーポレート・ガバナンス論2 2		
			管理会計2 2	C S R 論 2		
			コーポレート・ガバナンス論1 2	統合報告書論1 2		
			企業と社会 2	統合報告書論2 2		
		フィナンシャル・プランニング論1 2	会計データ分析1 2			
	フィナンシャル・プランニング論2 2	会計データ分析2 2				
	金融論1 2	会計インターンシップ 2				
	金融論2 2					
会計学特殊研究A、会計学特殊研究B（それぞれ2単位）を2年生～4年生の間で履修すること						
自由選択科目 (30)			インターンシップ(事前研究) 1	国際金融論1 2		(自身の興味・関心がある科目) 4
			インターンシップ1 or 2 1or2	国際金融論2 2		
					(自身の興味・関心がある科目) 4	
備考		武蔵野BASISの科目や他学部他学科の科目は休講となる場合があるため、注意すること。				
履修モデル 計		34	33	34	12	
履修上限単位数(CAP) ※1		40	40	40	40	
履修モデル単位数 ※2		合計 113単位				
卒業所要単位数 ※3		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数(CAP)は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください(卒業所要単位数を満たすように上記の科目以外から11単位以上を履修すること)。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

1. 留学の認定科目（科目読替の対象となる単位以外のもの）

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて本学の認定可能な科目、及び左記科目を組み合わせるとして通年で40単位（半期のみ20単位）まで認定可能
	協定留学2	2		
	協定留学3	4		
	協定留学4	6		
	協定留学5	8		
	協定留学6	10		
	協定留学7	10		
認定（SAP）留学	認定留学1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、10単位まで認定可能
	認定留学2	2		
	認定留学3	4		
	認定留学4	6		
	認定留学5	8		
	認定留学6	10		
	認定留学7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム1	1	学科科目 (選択)	留学先の学修時間に応じて、10単位まで認定可能
	短期留学プログラム2	2		
	短期留学プログラム3	3		
	短期留学プログラム4	4		
	短期留学プログラム5	5		
	短期留学プログラム6	6		
	短期留学プログラム7	7		
	短期留学プログラム8	8		
	短期留学プログラム9	9		
	短期留学プログラム10	10		
短期語学研修	海外語学研修1	2	自由選択科目 ※	留学先の学修時間に応じて各語学研修について、2単位から4単位まで認定可能
	海外語学研修2	3		
	海外語学研修3	4		
	海外語学研修4	4		

2. 資格試験の合格による認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定Ⅰ	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定Ⅱ	2		
	資格認定Ⅲ	2		
	資格認定Ⅳ	1		
	資格認定Ⅴ	1		
	資格認定Ⅵ	1		
	資格認定Ⅶ	1		

3. 本学が認めたボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間に応じて、1単位から4単位まで認定可能
	ボランティア活動2	1		
	ボランティア活動3	2		
	ボランティア活動4	2		
	ボランティア活動5	4		

4. その他本学が認めた単位認定

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野BASIS、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

● 卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位数

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野BASIS	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
	選択必修		
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※			以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野BASIS（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・

武蔵野BASISのうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

● 開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
【基幹科目群】						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>
履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。